

社会福祉法人宇治明星園

人権学習会

認知症ケアを通して人権を考える

～「みんなの認知症予防ゲーム」からつながる絆と優しさ～

認知症の方が自分らしく、また認知症の方を支える介護者も認知症を正しく理解し受容することができるように、日々あかるくあたまをつかってあきらめない活動(みんなの認知症予防ゲーム:認知症ケア)を通して、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができるよう社会に働きかけておられます。あらためて、認知症の方と接することで人としての人権について考えてみます。

日時: 平成27年9月6日(日)
18:30～20:00

場所: 菟道明星園デイサービスセンター
(三室戸小学校隣)

講演: 高林 實結樹 先生
(NPO法人認知症予防ネット理事長)

認知症予防の先駆けである増田末知子氏に師事。その後、NPO法人認知症予防ネットを2005年に設立。増田氏の考案された認知症予防であるスリーA(あかるく、あたまを使って、あきらめない)を日本全国に普及される。現在、諸外国(韓国など)からもその取り組みが注目されている。高林氏が実践されているスリーAは、現在「みんなの認知症予防ゲーム」として改名されている。

